

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	軽度近視に対する後房型有水晶体眼内レンズの臨床成績の検討 (B21-195)
当院の研究責任者 (所属・職位)	医療衛生学部視覚生理学教授/病院眼科併任医師 神谷 和孝
他の研究機関および 各施設の研究責任 者	
本研究の概要・背 景・目的	後房型有水晶体眼内レンズ挿入術は安全性や有効性が高く、国内では130施設以上に導入され、近年では屈折矯正手術全体の約4割(年間1万眼以上)にまで増加しております。以前は中等度近視から強度近視を適応範囲としていましたが、他の屈折矯正手術よりも良好な視機能の観点から、軽度近視においても使用されるようになってきています。しかし、現在までに軽度近視のみに対する後房型有水晶体眼内レンズの臨床成績の報告はありません。このような学術的背景をふまえ、軽度近視に対する後房型有水晶体眼内レンズの臨床成績を後方視的な検討を行うことで、軽度近視における新たな治療選択肢となることが可能となり、眼科医療の発展に貢献できると考えています。本研究では軽度近視(術前等価球面度数-3.0D以内)に対して有水晶体眼内レンズ(implantable collamer lens: Visian ICL™ STAAR Surgical 社)手術を施行し術後1年まで経過観察可能であった症例の術前、術後1週、1、3、6か月、1年の時点における臨床成績について過去の診療録をもとに後方視的に検討します。
調査データ 該当期間	2014年4月1日から2021年6月30日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さま	2014年4月1日から2020年6月30日に有水晶体眼内レンズ挿入術を当院にて施行された方
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2014年4月1日から2021年6月30日までの電子カルテに記載のある診療記録、眼科学的検査(裸眼視力・矯正視力・屈折度数・眼圧・角膜・コントラスト感度)データを利用します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。

お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位:病院眼科・一般 担当者:安藤 和歌子(アンドウ ワカコ) 電 話:042-778-8111
備 考	